

令和7年度

協働のまちづくりに関する市民アンケート調査 報告書 概要版

この概要版は、令和7年度協働のまちづくりに関する市民アンケート調査結果報告書の一部を抜粋したものです。

調査の概要

1 調査目的

本調査は、行政区活動に関する市民の現状や意識などを把握し、今後の行政区加入促進等に資する取組等の検討につなげることを目的として実施しました。

2 調査概要

- (1) 調査対象 市民（無作為に抽出） 220人
市公式LINE登録者 3,179人
- (2) 調査方法 調査用紙郵送、郵送回答・オンライン回答の併用
市公式LINE登録者に配信し、回答を依頼
- (3) 調査期間 令和7年7月17日（木）～8月8日（金）
令和7年7月25日（金）～8月8日（金）

3 調査回収率

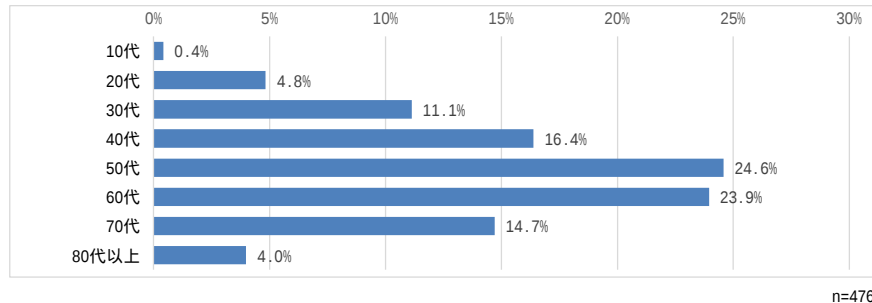
- (1) 有効回収数 市民（無作為抽出） 86人
市公式LINE登録者 390人
- (2) 有効回収率 市民（無作為抽出） 39.1%
市公式LINE登録者 12.3%

【回答媒体の内訳】

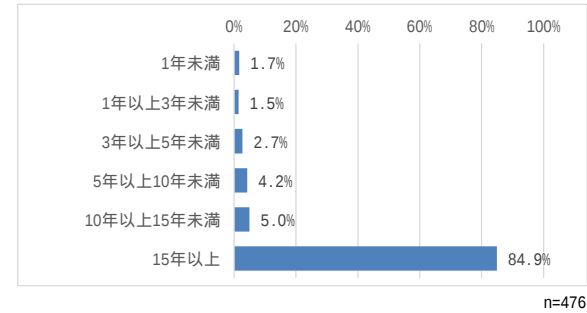
郵送が86人（39.1%）、公式LINEが390人（12.3%）、回収率は全体で14.0%。

回答属性

問 あなたの年齢を教えてください。

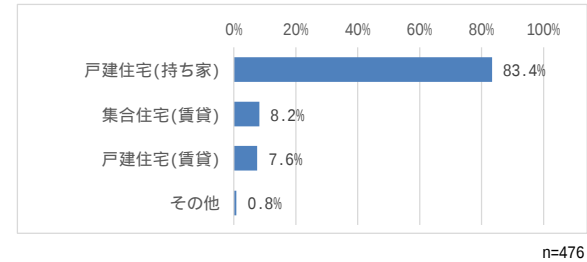


問 南相馬市での居住年数を教えてください。



市内での居住年数は、「15年以上」が84.9%と最も多く、次いで「10年以上15年未満」（5.0%）、「5年以上10年未満」（4.2%）となっています。

問 お住いの形態を教えてください。

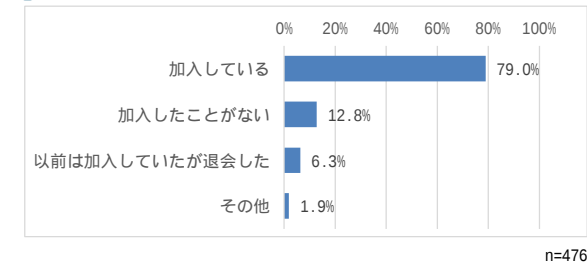


お住いの形態は、「戸建住宅（持ち家）」が83.4%と最も多く、次いで「集合住宅（賃貸）」（8.2%）、「戸建住宅（賃貸）」（7.6%）となっています。



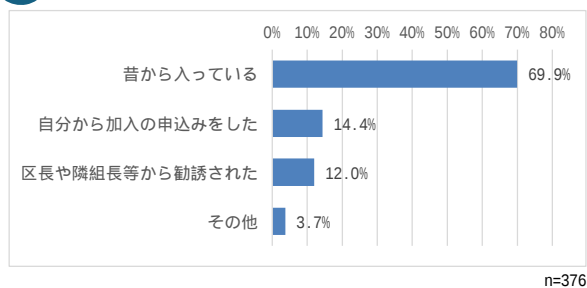
行政区（隣組）への加入

問 行政区に加入していますか。



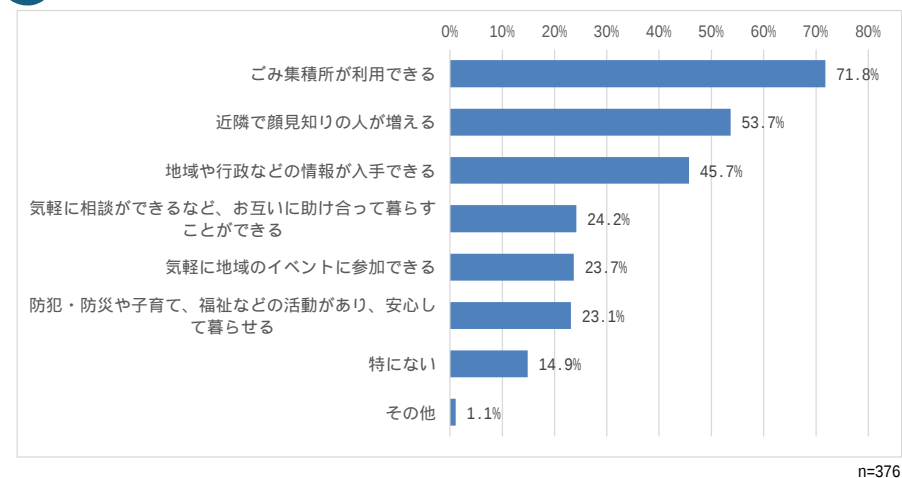
行政区への加入状況は、「加入している」が79.0%と最も多い一方、「以前は加入していたが退会した」「加入したことがない」が約2割を占めています。

問 行政区に加入したきっかけを教えてください。



行政区に加入したきっかけは、「昔から入っている」が69.9%と最も多く、次いで「自分から加入の申込みをした」(14.4%)、「区長や隣組長等から勧誘された」(12.0%)となっています。

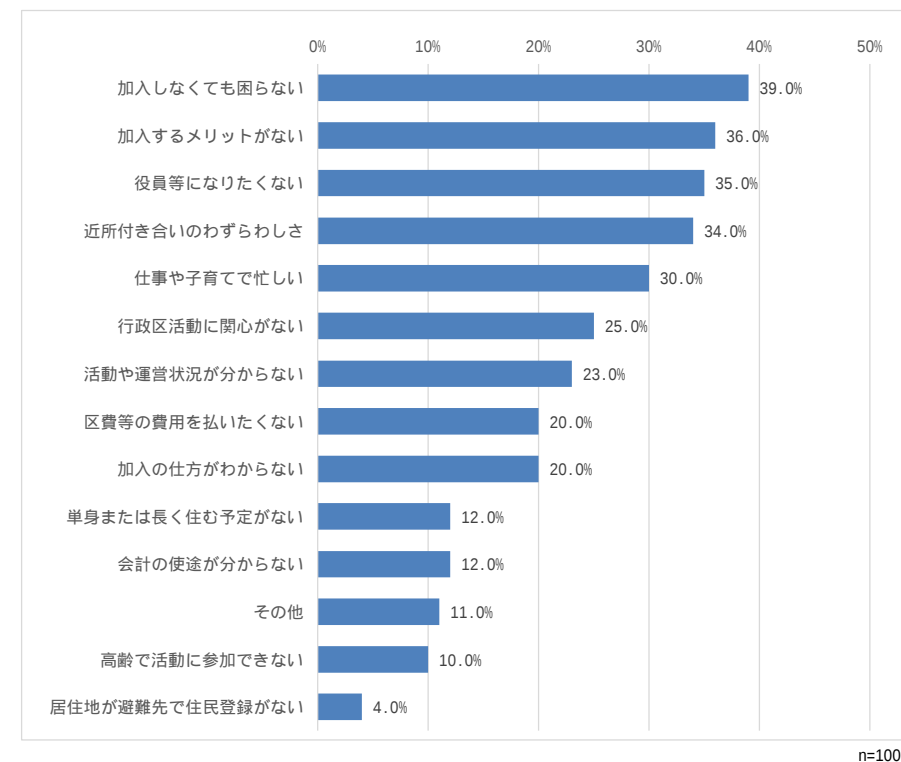
問 行政区に加入して良かったと思うことは何ですか。(複数回答)



行政区に加入して良かったと思うことは、「ごみ集積所が利用できる」が71.8%と最も多く、次いで、「近隣で顔見知りの人が増える」(53.7%)、「地域や行政などの情報が入手できる」(45.7%) となっています。



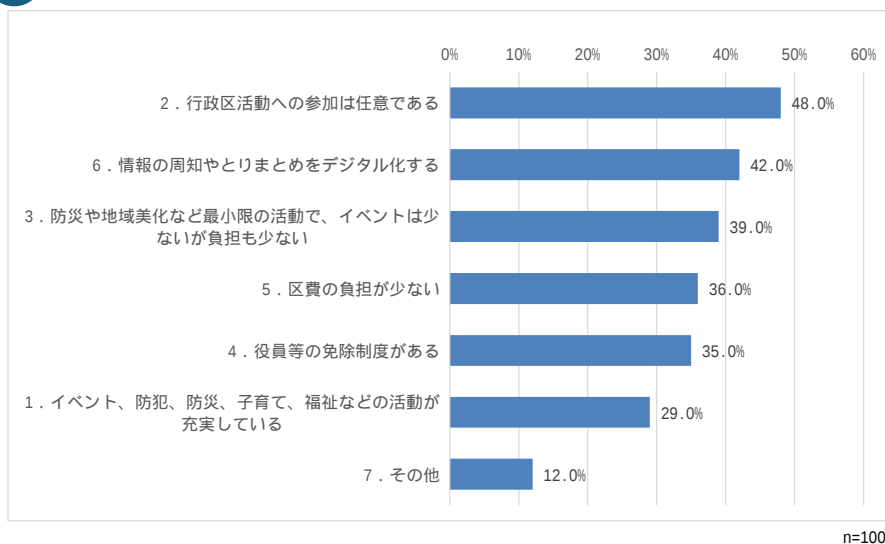
問 行政区に加入していない・退会した理由を教えてください。(複数回答)



行政区に加入していない・退会した理由は、「加入しなくても困らない」が39.0%と最も多く、次いで「加入するメリットがない」(36.0%)、「役員等になりたくない」(35.0%)、「近所付き合いのわずらわしさ」(34.0%)となっており、行政区加入のメリットをより効果的に周知に努めるとともに、役員等の負担軽減策を引き続き進める必要があることがうかがえます。

一方で、「近所付き合いのわずらわしさ」では、前問「行政区に加入して良かったと思うこと」として最も回答数が多かった「近隣で顔見知りの人が増える」と相反する形となっており、地域のつながりの希薄化への危機感が高まっていることがうかがえます。

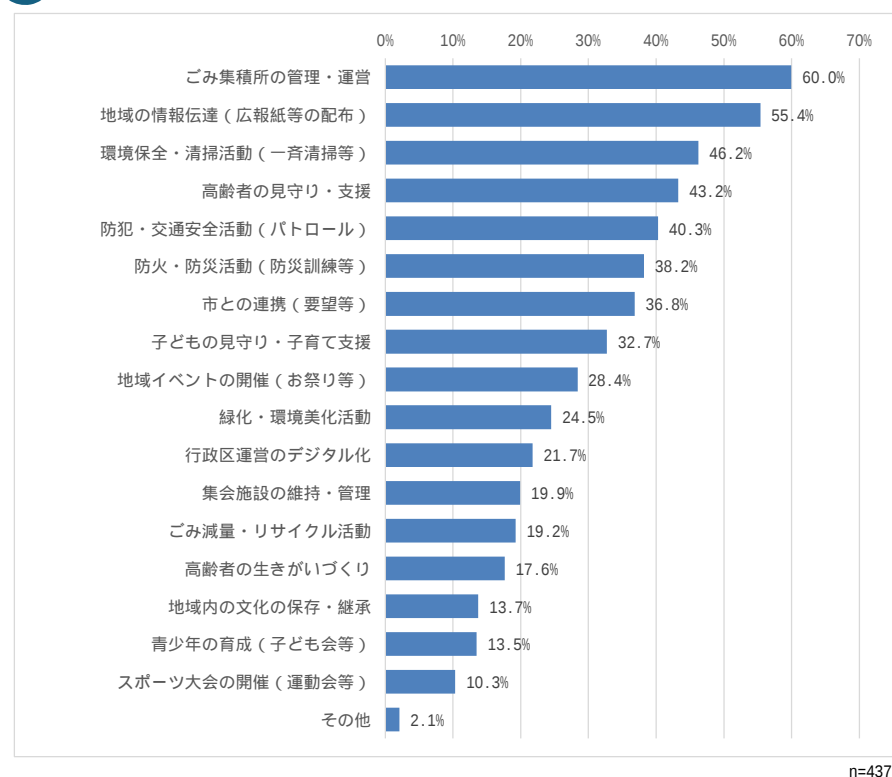
問 どのような行政区であれば加入したいと思いますか。（複数回答）



どのような行政区であれば加入したいと思うかでは、「行政区活動への参加は任意である」が48.0%と最も多く、次いで「情報の周知やとりまとめをデジタル化する」（42.0%）、「防災や地域美化など最小限の活動で、イベントは少ないが負担も少ない」（39.0%）、となっており、地域との緩やかなつながりやデジタル化による負担軽減などの取組が求められていることがうかがえます。



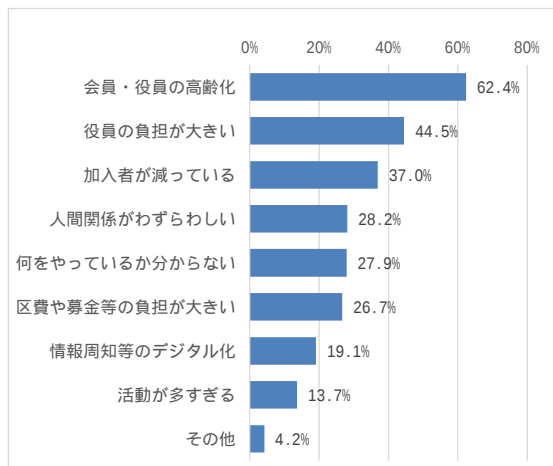
問 行政区活動で必要だと思うものを教えてください。（複数回答）



行政区活動で必要だと思うものについては、「ごみ集積所の管理・運営」が60.0%と最も多く、次いで「地域の情報伝達」（55.4%）、「環境保全・清掃活動」（46.2%）となっており、幅広い活動の中で最低限欠かすことができない活動と考えていることがうかがえます。



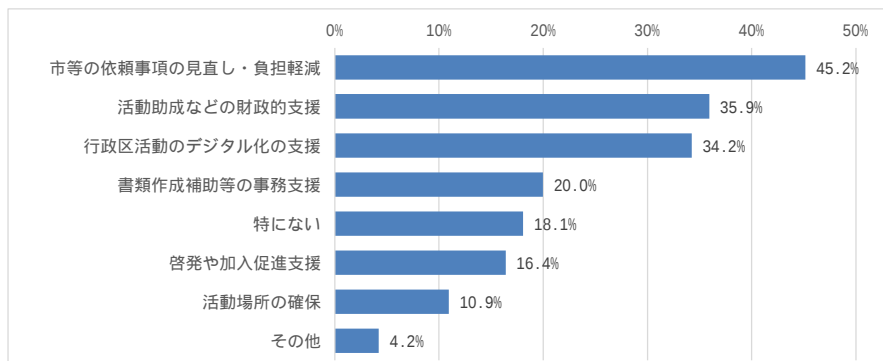
問 行政区活動の課題はどれだと思いますか。（複数回答）



n=476

行政区活動の課題は、「会員・役員の高齢化」が62.4%と最も多く、次いで「役員の負担が大きい」(44.5%)、「加入者が減っている」(37.0%)となっており、担い手等の確保のため負担軽減策の取組が求められていることがうかがえます。

問 市が行政区に支援する必要があると思うものを教えてください。（複数回答）



n=476

市が行政区に支援する必要があると思うものについては、「市等の依頼事項の見直し・負担軽減」が45.2%と最も多く、次いで「活動助成などの財政的支援」(35.9%)、「行政区活動のデジタル化の支援」(34.2%)となっています。

行政区活動や施策への提案など

	区 分	件数
1. 行政区活動	(1)行政区運営	12 件
	(2)担い手不足	4 件
	(3)役員の負担	3 件
	(4)区費等の徴収	4 件
2. 広報・情報提供	(1)情報提供の方法	5 件
	(2)回覧板の見直し	3 件
3. 加入促進	(1)行政区への加入	3 件
	(2)その他	3 件
4. 環境美化	(1)ごみ	13 件
	(2)その他	8 件
5. 防犯・防災		5 件
6. 地域福祉	(1)高齢者の見守り・支援	2 件
	(2)子供の見守り・子育て支援	3 件
7. デジタル化		1 件
8. その他		34 件

87 人から 103 件の意見等があり、上記のとおり分類整理しました。

「行政区活動」が 23 件と最も多く、次いで「環境美化」が 21 件、「広報・情報提供」が 8 件となっています。



令和 7 年度協働のまちづくりに関する市民アンケート調査
報告書 概要版

令和 7 年 1 0 月

南相馬市復興企画部コミュニティ推進課
電話 0 2 4 4 - 2 4 - 5 4 1 1